

日本更生保護学会第7回大会

日本更生保護学会第7回大会を、平成30年12月1日・2日に、立教大学池袋キャンパスで開催します。会員の皆様のご参加をお待ちしております。

- ・開催日：平成30年12月1日（土）・2日（日）
- ・会場：立教大学池袋キャンパス（東京都豊島区西池袋3-34-1 裏面案内図参照）
- ・主催：日本更生保護学会
- ・後援：法務省、日本更生保護協会、全国保護司連盟、全国更生保護法人連盟
全国就労支援事業者機構、日本更生保護女性連盟、日本BBS連盟
刑事政策研究会、立教大学コミュニティ福祉学部

プログラム（予定につき変更の可能性があります）

12月1日（土）

【タッカーホール】

- 受付 12:30より（2階ロビー）
- 総会 13:00～13:40
- 招待講演 13:45～14:45
チェ・ウン・ヨル氏
（Mr. Choi, Eung-Ryul、韓国矯正学会副会長）
「韓国更生保護事業の現状と発展方策」
- 大会企画シンポジウム 15:00～18:00頃
「保護観察対象者の更生と社会統合 再考」

【企画・司会】

小長井 賀典（立教大学、司法福祉）

【パネリスト】

- ・齋藤 行博（法務省矯正局）
「調査研究から得られた知見-成人犯罪者の再犯リスク要因」仮題
- ・三宅 仁士（関東地方更生保護委員会）
「実務から得た知見-犯罪者の更生要因と有効な処遇」
- ・西田 恵子（立教大学）
「地域福祉の視座-地域包括ケア」

【指定討論者】

吉開 多一（国士舘大学、刑事法）

- 情報交流会（会費制） 18:30～20:30

12月2日（日）

【7号館 1～3階】

- 受付 9:00より（1階ロビー）
- セッション及び自由報告 9:30～12:30
 - 1 刑の一部の執行猶予制度の現状と課題
[1階 7101 教室]
 - 2 再犯防止推進計画の実現に向けた
保護司・保護司組織の役割
[2階 7201 教室]
 - 3 更生保護施設における地域協力者の活用
～被保護者の特性に応じた処遇の試み～
[2階 7202 教室]
 - 4 医療観察におけるアセスメントの現状と
課題
[2階 7203 教室]
 - 5 BBS運動の新たな活動 -BBS発足70周年・
キーコンセプト「つづける・つたえる・つぎ
の手に」を考える [2階 7204 教室]
 - 6 自由報告1 [3階 7301 教室]
 - 7 自由報告2 [3階 7302 教室]

- ・参加申込方法： 別紙大会参加申込書を郵送またはFAXで学会事務局宛にお送りください。
折り返し、郵便振替用紙を送付しますので事前にお振り込みください。
会員には、事前に郵便振替用紙をお送りいたします。
- ・大会参加費： 2,000円（当日申込の場合は（振込がなかった場合も含む。）3,000円）
- ・交流会参加費： 4,000円（事前申込のみ）

